

総合目標	26年度 (プラン策定時)	30年度 実績値	令和元年度 実績値	目標値
合計特殊出生率	1.45 (平成26年)	1.54 (平成30年)	1.47 (令和元年)	1.8台 (おおむね10年後)
地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	55.6% (平成26年度)	51.5% (平成30年度)	51.2% (令和元年度)	67.0% (令和6年度)

重点的な取組の進展度、重点目標等一覧

重点的な取組	取組の進展度	判断理由	重点目標	平成26年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成状況
				現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
1 ライフプラン教育の推進	😊 (ある程度進んだ) (平均0.93)	ライフプラン教育を実施している市町数は前年度と同数で目標には達しなかったものの、全ての県立高等学校においてライフプラン教育に関する取組を実施したことなどから、「ある程度進んだ」と判断しました。	ライフプラン教育を実施している市町数	10市町(26年度)	20市町 22市町	23市町 25市町	26市町 25市町	29市町 25市町	0.86 1.00
			県立高等学校においてライフプラン教育に関する取組を実施した割合	38.6% (26年12月末)	60.0% 62.1%	75.0% 69.0%	90.0% 78.9%	100.0% 100.0%	
2 若者の雇用対策	😊 (ある程度進んだ) (平均0.94)	「おしごと広場みえ」利用者の就職率および県内新規学卒者等が県内に就職した割合については目標を達成することはできませんでしたが、9割を超える達成度があることから「ある程度進んだ」と判断しました。	「おしごと広場みえ」利用者の就職率	40.3%(25年度)	56.8% 55.8%	57.6% 58.6%	58.3% 60.0%	59.0% 56.0%	0.95 0.93
			県内新規学卒者等が県内に就職した割合 (※新たに27年度に設定)	71.9%(26年度)	73.9% 72.9%	74.7% 72.2%	75.4% 72.0%	76.1% 71.0%	
3 出逢いの支援	😊 (進んだ) (平均1.00)	出逢いの場の情報提供数および結婚支援に取り組む市町数ともに目標を達成したことから、「進んだ」と判断しました。	出逢いの場の情報提供数	10件 (26年10月)	180件 150件	200件 205件	220件 263件	240件 370件	1.00 1.00
			結婚支援に取り組む市町数	11市町 (25年11月)	15市町 19市町	20市町 20市町	21市町 21市町	22市町 23市町	
4 不妊に悩む家族への支援	😊 (ある程度進んだ) (平均0.93)	県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数は目標を達成することはできませんでしたが、目標の85パーセントが達成されており、主な取組についても概ね進展していることから「ある程度進んだ」と判断しました。	男性の不妊治療等、県独自の不妊治療助成に取り組む市町数	19市町(26年度)	21市町 29市町	29市町 29市町	29市町 29市町	29市町 29市町	1.00 0.85
			県独自の全ての不妊治療助成事業に取り組む市町数 (※新たに27年度に設定)	5市町(26年度)	13市町 14市町	16市町 16市町	18市町 16市町	20市町 17市町	
5 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実	😊 (ある程度進んだ) (平均0.997)	日常の育児について相談相手がいる親の割合は目標を達成できませんでしたが、妊娠期から子育て期にわたる支援のうち、産後ケアとして訪問・通所・宿泊等による母子のサポート体制がある市町数が目標値を上回って達成したため、切れ目のない支援体制づくりに向けた取組が「ある程度進んだ」と判断しました。	日常の育児について相談相手のいる親の割合	99.4%(26年度)	99.7% 99.1%	99.8% 99.6%	99.9% 99.3%	100.0% 98.9%	0.99 1.00
			妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談窓口が整備されている市町数	22市町(26年度)	26市町 24市町	27市町 29市町	29市町 29市町	29市町 29市町	
			訪問・通所・宿泊等による産後ケアを実施できる体制がある市町数	2市町(26年度)	7市町 10市町	11市町 18市町	20市町 22市町	22市町 27市町	
6 周産期医療体制の充実と在宅での療育・療養支援	😊 (ある程度進んだ) (平均0.98)	重点目標の4項目のうち3項目で目標を達成し、残る1項目も前年度より進展したことから、「ある程度進んだ」と判断しました。	出産1万あたりの産科・産婦人科医師数	96人(24年)	96人以上(26年) 114人(26年)	110人以上(28年) 121人(28年)	110人以上(28年) 121人(28年)	110人以上(30年) 144人(30年)	1.00 1.00
			小児人口1万人あたりの病院勤務小児科医師数	4.2人(24年)	4.2人以上(26年) 4.9人(26年)	5.5人以上(28年) 5.3人(28年)	5.5人以上(28年) 5.3人(28年)	5.5人以上(30年) 5.5人(30年)	
			就業助産師数	359人(24年)	403人(26年) 386人(26年)	447人(28年) 420人(28年)	447人(28年) 420人(28年)	491人(30年) 445人(30年)	
			周産期医療施設から退院したハイリスク児への市町における訪問等の実施率	97.4%(26年度)	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	100.0% 100.0%	

重点的な取組	取組の進展度	判断理由	重点目標	平成 26 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	達成状況
					実績値	実績値	実績値	実績値	
7 保育・放課後児童対策などの子育て家庭の支援	☹️(あまり進まなかった) (平均 0.51)	家庭教育に関して目標を大きく上回り達成したほか、保育所等の入所申込数の増加に対応するため、施設整備支援などによって施設面での定員を増やすことはできましたが、保育士配置基準の高い低年齢児の利用ニーズを満たす保育士の確保が困難なことなどにより、保育所の待機児童数や放課後児童クラブの待機児童数に関する目標が達成できなかったことから、「あまり進まなかった」と判断しました。	保育所の待機児童数(県)	48人 (26年4月1日)	73人 (28年4月1日)	48人 (29年4月1日)	24人 (30年4月1日)	0人 (31年4月1日)	0
			放課後児童クラブ・放課後子ども教室を設置する小学校区の割合(県)	88.0%(26年5月)	91.0%	92.0%	93.0%	93.0%	1.00
			放課後児童クラブの待機児童数(※新たに27年度に設定)	64人 (28年5月1日)	42人 (29年5月1日)	21人 (30年5月1日)	0人 (元年5月1日)	0	
			家庭教育を支援する市町・団体数(累計)(※新たに27年度に設定)	27市町・団体 (27年1月)	43市町・団体	59市町・団体	110市町・団体	1.00	
			15市町・団体	45市町・団体	88市町・団体	166市町・団体	1.00		
			小学校の児童との交流を行った幼稚園等の割合(※新たに27年度に設定)	76.3%	84.2%	92.0%	100%	0.56	
8 男性の育児参画の推進	😊(ある程度進んだ) (平均 0.77)	「育児休業制度を利用した従業員の割合」について目標を達成できなかったものの、前年度より割合が大きく上昇したこと、また「みえのイクボス同盟」の加盟団体数が大幅に増えて全国1位となり、「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業、団体数が目標を達成したことから、「ある程度進んだ」と判断しました。	「みえの育児男子プロジェクト」に参加した企業、団体数(累計)	5企業・団体 (27年1月)	120企業・団体	180企業・団体	240企業・団体	300企業・団体	1.00
			育児休業制度を利用した従業員の割合(県、男性)	4.2%	3.9%	5.0%	4.4%	7.6%	0.54
9 子育て期女性の就労に関する支援	😊(進んだ)	重点目標を達成したほか、主な取組が概ね進展していることから、「進んだ」と判断しました。	学生に対するキャリア形成支援を行う高等教育機関数	0校	4校	6校	8校	10校	1.00
			5校	7校	8校	10校	1.00		
10 企業による仕事と子育てとの両立に向けた取組の支援	😊(進んだ)	重点目標を達成したほか、主な取組が概ね進展していることから、「進んだ」と判断しました。	ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所の割合	31.8%(25年度)	48.0%	53.5%	59.0%	65.0%	1.00
			59.4%	66.9%	68.3%	71.3%	1.00		
11 子どもの貧困対策	😊(ある程度進んだ)	重点目標は達成できなかったものの、主な取組が概ね進展していることから、「ある程度進んだ」と判断しました。	生活困窮家庭またはひとり親家庭に対する学習支援を利用できる市町数(※新たに27年度に設定)	6市町	24市町	25市町	27市町	29市町	0.97
			23市町	25市町	28市町	28市町	0.97		
12 児童虐待の防止	😊(進んだ)	重点目標について達成したことから、「進んだ」と判断しました。	児童虐待により死亡した児童数	0人 (25年度)	0人	0人	0人	0人	1.00
			0人	1人	0人	0人※	1.00		
13 社会的養護の推進	😊(ある程度進んだ)	グループホームでケアを受けている要保護児童の割合としては目標には達しませんでした。里親等への委託率も含めると上昇していることから、「ある程度進んだ」と判断しました。	グループホームでケアを受けている要保護児童の割合	7.8%(26年12月)	12.3%	14.2%	16.1%	18.1%	0.88
			13.3%	14.2%	16.1%	15.9%	1.00		
			里親・ファミリーホームでケアを受けている要保護児童の割合	16.1%(26年12月)	21.2%	23.2%	24.5%	24.5%	1.00
			22.9%	26.4%	28.8%	29.4%	1.00		
14 発達支援が必要な子どもへの対応	☹️(あまり進まなかった)	「CLM(Check List in Mie)と個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合は増加しているものの目標を達成できなかったため、「あまり進まなかった」と判断しました。	「CLMと個別の指導計画」を導入している保育所・幼稚園等の割合	33.1%	50.0%	55.0%	65.0%	75.0%	0.77
			44.3%	50.8%	53.8%	57.4%	0.77		

※重点目標「児童虐待により死亡した児童数」の令和元年度実績値については、児童虐待による死亡の疑いのある事案が発生しており、現在捜査中であるため、今後、実績値に変更が生じる場合があります。

